

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	<p>事業対象地であるカドグリ郡及びリフ・アシャギ郡において、計画を概ね達成した。手押しポンプ井戸の新設および補修は、安全な水へのアクセスを向上させ、井戸の維持運営の仕組みづくり支援においては、ほとんどの集落で井戸管理委員会が設置された。ラトリン（簡易型屋外トイレ）設置は、避難民居住区の衛生状態を改善し、屋外排泄におけるリスクを軽減した。出生登録支援は、啓発イベントによって、出生登録の必要性に対する認識を高め、登録によって子どもの就学機会確保につながった。また、幼稚園園舎増設の相乗効果によって、幼稚園に通う子どもたちの数が増加した。</p>
(2) 事業内容	<p><b>(ア) 井戸の掘削と住民による維持運営の仕組み作り支援</b>  対象地区：カドグリ郡及びリフ・アシャギ郡</p> <p>① 手押しポンプ型井戸 2 基の新設  周囲 500 メートル以内に井戸がなかったカドグリ郡ムルタ地区の北部及びリフ・アシャギ郡クエイク地区に各 1 基を新設。</p> <p>② 井戸管理委員会への巡回指導・モニタリング  カドグリ郡 3 地区、リフ・アシャギ郡 2 地区の合計 5 地区、10 集落において井戸の維持運営支援のための巡回指導及びモニタリングを実施した。</p> <p>③ 井戸管理委員会の追加設立：啓発イベントと工具配布  住民による井戸運営の重要性や衛生的な利用法を訴える啓発イベントを 4 集落にて実施した。その結果、2 集落で住民による井戸管理委員会が設立され、これまでにカドグリ郡のほぼ全ての地域で同委員会が設置された。また、井戸修理のための工具を保有していない 2 集落で工具を支援した。</p> <p>④ 保守管理の技術研修  各集落について過去に研修を受けた技術者の有無、前年度 N 連事業で啓発イベントを実施したかどうか等を考慮した上で、井戸補修の技術研修は 10 集落の 20 名を対象に実施した。</p> <p>⑤ 集合ワークショップの開催  10 集落の 25 名の井戸管理委員会メンバーを対象に、修理に関する経験等を共有する合同ワークショップを開催した。</p> <p><b>(イ) ラトリン（簡易型屋外トイレ）設置支援</b>  対象地区：カドグリ郡ティロ避難民居住区及びヘル・ジャディダ集落</p> <p>① 衛生啓発イベントの実施  ティロ避難民住居 2 か所、ヘル・ジャディダ集落 2 か所、計 4 か所で啓発イベントを実施した。寸劇及び保健衛生指導員による講話を通じて、公衆衛生やラトリン使用の必要性に係る啓発を行った。</p> <p>② 用具・資材の支援と避難民自身によるラトリン建設  啓発活動を通じてラトリンの必要性を認識した住民が、研修や資材の提供を受け、自らピットを掘削し、合計 175 基のラトリンが完成した。</p> <p><b>(ウ) 出生登録取得支援</b>  対象地区：カドグリ郡ティロ避難民居住区及びヘル・ジャディダ地区</p> <p>(A) 啓発イベントの実施  ティロ避難民住居及びヘル・ジャディダ地区で、寸劇や児童福祉専門家からの講話を通じて、教育の重要性や出生登録の重要性に係る啓発イベントを実施した。</p>

	<p>(B) 対象者の選定と登録支援 同2か所でJVCスタッフと現地調査員が各世帯を訪問し、出生登録を受けていない子どもを対象者として選定し、登録に必要な書類作成等を支援した。</p> <p>(C) 自発的な登録のモニタリング 登録支援実施後のモニタリングにより、啓発イベントを通じて出生登録の必要性を認識した住民が、自分自身で出生時に登録を行ったケースがみられた（出生時に登録を行えば登録料は不要）</p> <p>(エ) 幼稚園園舎（教室）増設 対象地区：カドグリ郡及びリフ・アシャギ郡、避難民居住区＋ホストコミュニティ ティロ避難民居住区、ヘル・ジャディダ集落及びガルドウッド集落で幼稚園園舎を増設した。また、変更報告により活動内容を変更し、ティロ避難民居住区の小学校の校舎改修を追加で実施した。さらに、増設・改修した教室への家具（椅子）を支援した。</p>		
<p>(3)達成された成果</p>	<p>【期待される成果】</p>	<p>【指標】</p>	<p>達成度</p>
	<p>(ア) (A)井戸2基新設により避難民の水へのアクセスが改善される。</p>	<p>新設された井戸1基につき1日50世帯が利用する（観察）。</p>	<p>設置後の利用状況調査では、ムルタ地区の井戸は1日約70世帯、クエイク地区の井戸は1日約90世帯が利用。</p>
	<p>(ア) (B)避難民・ホストコミュニティ住民による井戸管理委員会が井戸の保守管理を行うことで故障による井戸の稼働停止が減少し、住民に継続的に生活用水が供給される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象10集落のうち少なくとも7集落において、井戸管理委員会による維持費徴収および井戸の補修等の活動が定着し継続的に行われる（観察）。</li> <li>・井戸故障による稼働停止が1か月以上に及ぶことがない（観察、聞き取り）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の8集落の井戸管理委員会に加え、2集落で井戸管理委員会が新設または他の集落に統合する形で設置され、全ての集落で井戸補修等の活動が継続的になされた。</li> <li>・長らく放置されている井戸を除き、住民が通常使用している井戸の稼働停止が1か月以上に及ぶ状況は見られなかった。</li> </ul>
	<p>(イ)・避難民の中でラトリンの必要性についての認識が高まり、自分で建設する意欲を持つ世帯が現れる。 ・設置されたラトリンの利用が定着することで衛生状況が改善され、安全面での不安も減少する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計100世帯が支援を受けラトリン建設（観察）</li> <li>・ラトリンを設置した世帯が適切な方法で利用し、ラトリンとその周辺が清潔に保たれる（観察、聞き取り）。</li> <li>・夜間にラトリンが利用される（聞き取り）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計175基（ティロ地区：59基、ヘル・ジャディダ：116基）のラトリンが建設された。</li> <li>・完成が雨季に差し掛かりスラブや草ぶきのフェンスの設置が完成していない数基を除き、ほぼ全てのラトリンが利用され、その周辺が一定の衛生状態が保たれていることを確認した。</li> <li>・夜間にラトリンが使用されていることを確認した。</li> </ul>

	<p>(ウ)・避難民の中で出生登録の必要性の理解が進み、自発的に子どもの登録を行う動きにつながる。</p> <p>・支援を受けた800人の児童が出生登録を取得する。</p> <p>・幼稚園・小学校に通う避難民児童の数が増加する。</p>	<p>・家族によって自発的に登録される児童が400人(該当する児童の7割程度)に達する。</p> <p>・児童800人が新規に出生登録を取得する(書類にて確認)。</p> <p>・出生登録を取得した4歳以上の児童のうち7割以上が幼稚園または小学校に通う(聞き取り調査)。</p>	<p>・教育や出生登録の必要性に関する啓発イベントに少なくとも300人が参加した。こうした住民が、将来子どもの出生時に自発的な登録を行うことが期待される。</p> <p>・児童914人が出生登録を取得した。</p> <p>・約7割に相当する約600人(ティロ避難民居住区及びガルドウッド集落の幼稚園:各100人、ヘル・ジャディダ集落の幼稚園:400名)が新規に入園した。</p>
	<p>(エ)幼稚園の児童受入数が増加し、就学機会が拡大する。</p>	<p>・対象の3幼稚園の児童数が、園舎増設以前に比べそれぞれ約150名増加する(訪問して確認)。</p>	<p>・ティロ避難民居住区、ヘル・ジャディダ集落、ガルドウッド集落で幼稚園園舎を増設。ティロ避難民居住区及びガルドウッド集落の幼稚園で各100人、ヘル・ジャディダ集落の幼稚園で400名の園児が増加した、変更報告により、追加でティロ避難民居住区の小学校の改修及び増設した園舎用の教室用家具(椅子)を支援した。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>事業内容 (ア) 井戸の掘削と住民による維持運営の仕組み作り支援に関して、これまでにカドグリ周辺のほぼ全ての集落で井戸管理委員会が設置され、住民により井戸の補修が行われている。10集落の井戸管理委員会のメンバーが集い、井戸補修に関する経験等を共有する合同ワークショップを実施したことにより、今後、徐々に委員会同士のネットワークが構築されて、外部からの援助を受けなくても委員会の運営が定着、継続していくものと考えられる。</p> <p>(イ) ラトリン設置支援について、啓発活動や設置支援を通じて、ラトリンの必要性を認識した住民による自主的な設置の動きは広がっており、事業期間が明けた乾季にもピットを掘削する様子が見られた。こうしたラトリン設置及び利用が定着していけば、衛生面及び安全面のリスクは軽減されることが考えられる。</p> <p>(ウ) 出生登録取得支及び(エ)幼稚園園舎増設支援は、その相乗効果により、就学機会の拡大に繋がっている。就学する子どもが増えることによって児童労働のリスクが減り、将来における地域社会の安定や発展に寄与することが期待される。</p>		